

INTERIM BUSINESS REPORT

第91期 中間報告書

2020.1.1 ▶ 2020.6.30

市光工業株式会社





当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を主因に内需と生産活動の双方が低迷いたしました。世界経済においても、生産や投資が回復傾向にある中国を除き、米国のGDPが過去最悪を記録するなど、移動制限や都市封鎖などの影響から景気は危機的な状況に直面することとなりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は、需要減などから第1四半期からさらに第2四半期は落ち込み、前年同期比では大幅なマイナスとなりました。アセアンにおいても、新型コロナウイルスの感染防止などから、自動車メーカーが工場操業を一時停止した影響などもあり、タイ、マレーシア、インドネシアの3カ国ともに自動車生産台数は前年同期比で大幅なマイナスとなりました。また、中国の自動車生産台数は第2四半期に入って回復したものの、特に2月の生産が大きく落ち込んだことなどから前年同期比では減少となりました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、市光工業グループとして売上高の減少に対応した経費の変動費化を図りましたが、新型コロナウイルスの影響は大きく、主力の国内は売上高の減少や厚木新工場への移転に伴うコスト増などから減益となり、海外子会社(アセアン3社と中国1社)は4社合計で減収、4社とも赤字を余儀なくされ、売上高は51,713百万円(前年同期比22.7%減)、営業損失は439百万円(前年同期は営業利益4,016百万円)、経常損失は665百万円(前年同期は経常利益4,172百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は636百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,756百万円)となりました。

なお、中間配当は株主の皆さまへの利益還元を継続する観点から1株当たり1円とさせていただきます。一方、期末配当予想につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどを勘案し、引き続き未定とさせていただきます。

2020年12月期の連結業績予想につきましては、現状、世界的に新型コロナウイルス感染拡大の傾向に歯止めがかからない状況にあり、国内の感染者数も増加傾向になるなど不確実な要素が多くあります。かような不安定な状況は継続しておりますが、当社は現時点では日本およびアセアンにおける2020年12月期の自動車生産台数は20%を上回る減少幅になるという厳しい見通しを立てており、かかる前提をもとに、売上高110,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円と予想いたします。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 Heiko Sauer(サワー ハイコー)

レクサスブランドのヘッドランプを初受注 中国で販売の超高級ミニバン [レクサスLM]

ICHIKOHは、トヨタ自動車が中国で販売を開始したレクサスブランドの超高級ミニバンであるレクサスLMのヘッドランプを、同ブランドのヘッドランプとしては初めて受注し、約2年の期間をかけて開発し、新工場の厚木製造所で生産を担っています。

レクサスブランドの車両とその搭載部品は「レクサス品質」と呼ばれるほど業界最高水準の品質を求められています。さらに、先進的な光学機能と、斬新な意匠性の高次元での両立が付加されます。

一例としてLMには、アローヘッド形（矢じり形）のデイトタイムランプが組み込まれていますが、ICHIKOHの中では過去最大級のサイズであり、それを面発光させるのは従来以上に高度な技術が必要でした。

ICHIKOHのチームは、中部支店の営業、設計メンバーと伊勢原本社の開発、購買、生産技術、厚木製造所の製造メンバーがONE TEAMとなり、「やったことがない。」を言い訳にせず、「どうすればできるか。」を合言葉に一つ一つの課題にチャレンジし、壁を突破して製品を創り上げ、お客様の高い評価をいただくことができました。

LMのヘッドランプの成功がICHIKOHの未来を切り拓く契機となり、レクサスブランドのさらなる発展に寄与できることを目指しています。



レクサスLMのヘッドランプ



レクサスLM

(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2020年6月30日現在	前連結会計年度末 2019年12月31日現在
資産の部		
流動資産	35,107	46,255
固定資産	65,855	63,558
有形固定資産	45,510	42,760
無形固定資産	1,182	1,287
投資その他の資産	19,162	19,510
資産合計	100,963	109,813
負債の部		
流動負債	39,228	45,821
固定負債	18,255	18,586
負債合計	57,484	64,407
純資産の部		
株主資本	44,740	45,713
その他の包括利益累計額	△2,377	△1,473
非支配株主持分	1,115	1,165
純資産合計	43,478	45,405
負債及び純資産合計	100,963	109,813

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	前第2四半期累計 2019年1月1日から 2019年6月30日まで
売上高	51,713	66,906
売上原価	42,319	52,612
売上総利益	9,394	14,294
販売費及び一般管理費	9,834	10,277
営業利益又は営業損失(△)	△439	4,016
営業外収益	221	394
営業外費用	447	238
経常利益又は経常損失(△)	△665	4,172
特別利益	—	0
特別損失	4	176
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△670	3,996
法人税等	△9	1,232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△660	2,764
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△636	2,756

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	前第2四半期累計 2019年1月1日から 2019年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,589	9,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,084	△11,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△819	452
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,393	△1,617
現金及び現金同等物の期首残高	8,196	10,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,803	8,597

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2020年6月30日現在)

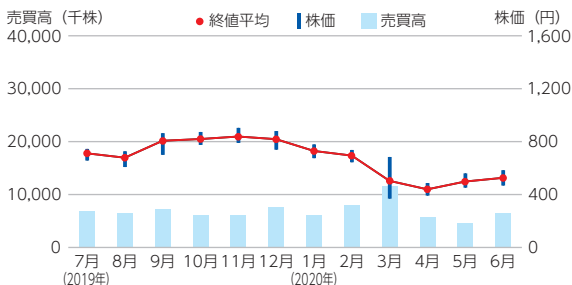
発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	5,475名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン	58,791 千株	61.16 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,905	6.14
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,818	3.97
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	1,236	1.28
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
JP MORGAN CHASE BANK 385781	866	0.90
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	515	0.53
野村證券株式会社	508	0.52

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (165,198株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、5,905千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2020年6月30日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ガルニエ ロドルフ
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2020年6月30日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,812名 (1,517名) 単体 1,896名 (808名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463(96)1451 FAX 0463(96)2080
----	---

ホームページのご案内 会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。
<http://www.ichikoh.com/>

ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

